

市民ワークショップ委員からの意見と回答、計画の訂正

頁	意 見
7	前計画の評価で、目標人口の設定が過大で無理があった。反省も含め表記すべきではないか。 → 人口を増やしたい私たちの思いは10年前も今も同じです。反省すべきは「人口設定そのもの」ではなく、みんなで設定した目標人口に到達するために必要な取り組みや努力が私たちに足らなかったことの反省です。その思いで7頁の反省を行っています。
14	将来人口推計(現状)と5万人を目指す内容(今後の取り組み)との整合性について確認した。 → 今後の人口減少が見込まれますが、5万人都市再生を掲げ取り組みます。前回よりもさらに大変な努力が必要ですが、市民一人ひとりがその力を発揮し、加西市の元気力(底力)を結集したいと思います。
15	「人口減少社会」→正面から向き合うべき問題として捉えるべきで、消す必要はない。 → 「社会構造の変化とその影響に正面から向き合い」を復元します。
24	「学びの場」→「市民大学などの学びの場」、「学びの場(市民大学等)」等に表現変更。 → わかりにくい「学びの場」の表現を「生涯学習パスポート」登録制度に訂正します。
24	リーダーを養成しても、そこから先が進まない。 リーダーを支援する方策が必要ではないか。目的も明確に表せないか。 → 生涯学習のための人づくりと環境づくりを掲げ、コーディネート機能を高めるリーダー支援をめざしています。リーダーの総数は限られた人数かもしれませんが、生涯学習パスポート登録者全体の増加で、全体の底上げを図りたいと考えます。
24	「学びの場の活ユーザー数」が少ないのではないかと。 → 活ユーザーの数字は、講座に参加された人の数ではなく、登録認証されたパスポートを持つ人の数となります。
30	職域交流事業数の10年後の「0」はおかしいのではないかと。 → 10年後の「0」を「2」に訂正します。
32	学校あり方委員会の意向が反映されているのを確認した。 → 学校あり方検討委員会の答申を反映しました。

市民ワークショップ委員からの意見と回答、計画の訂正

頁	意 見
32	「小中連携強化及び」→重複しているため不要。 → 重複しておりますが、計画を説明する言葉として残しております。
32	外国人語学指導助手の「増員」は「充実」に → 助手を「増員」にして、教育を「充実」にします。
34	学校統廃合について「再編」と「整備」の文言の違いについて確認した。 → 給食施設整備は将来的な再編の機会ではなく、もっと早い時期に取り組みます。
34	「全中学校給食を実施します」→「実施します」は行き過ぎた表現。弁当派の保護者もいる。「実施に向け～」ぼやかした表現に。 → 実施に向けて、保護者や関係機関との協議も十分に行います。
36	学校は本当に「開かれて」いるのか。開かれていないと思うのだが。西在田では子どもに川に入るなというが、地域の人といっしょに自然体験させることもできるのではないか。 → 学校における環境学習は大切なことであり、施策27(76頁)は環境学習の推進を掲げています。
38	新規就農希望者の公開講座数の目標値(1～2)が低すぎないか。 → 5年後の「1」を「2」に、10年後の「2」を「3」に数値を訂正します。
38	農作物の標記だけでなく「土づくり」も加えるべきでないか。農業環境にも触れるべき。 → 農業環境については施策22「自然と共生する里地里山づくり」(66頁)にも農業環境を掲げています。
38	「認定農業者」→不要。裾野の広い農業をめざすという10年後の到達目標と相反する表現になっている。枠外の人を排除するように感じる。 → 「認定農業者等」に訂正します。
38	「認定農業者を対象とした公開講座」→認定農業者はむしろ講師側。 → 意欲のある方を含め様々な講座を検討していきたいと考えます。

市民ワークショップ委員からの意見と回答、計画の訂正

頁	意 見
38	集落営農の文言を追加すべき。「意欲のある農業者」 → 「集落営農」の文言を追加します。
40	加西産の学校給食について数値目標はないのか。 → 品目、供給量、流通路等、事業者との調整が必要であるため、現段階の数値化は困難です。
40	「産業団地を整備します。」→産業団地の整備は県。「県と調整しながら～」等、表現変更が必要。 → 市の担う役割は大きく、また県や関係機関との調整が必要と考えています。
46	市所有未利用地の住宅開発について数値目標は低い。 → 市の所有する未利用地で、2箇所では住宅整備の可能性を見込んでいます。
48	空き家バンクの数値目標が低い。 → 10年後の「20」を「30」に訂正します。
48	「特別指定区域制度を利用した」→削除。限定する必要なし。 → 「特別指定区域制度等を利用した」に訂正します。
50	「阪神間」という表現は「都市部」ではどうか → 姫路、加古川、高砂なども想定し、「近隣市や阪神間への」に訂正します。
50	バス利用のための駐車場整備も盛り込んでほしい → 実施計画の中で検討したいと考えます。
50	「JR山陽本線～」→削除不要。追加した文章に「JR山陽本線～」を挿入。 → ご指摘のとおり、削除した「JR山陽本線～」を復元します。
52	河川の整備について目標値を記載すべきでないか。 → 河川箇所や実施時期については実施計画で設定します。

市民ワークショップ委員からの意見と回答、計画の訂正

頁	意 見
54	障害者団体の「活性化」という表現はもっとわかりやすく記載しては → 具体的な事業は実施計画の中で計画します。
54	高齢者講座の受講者数の目標値はもっと伸びるのではないか。 → 10年後の「500」を「520」に訂正します。
56	「健康づくりのための拠点を充実します。」→曖昧な表現で意味が伝わらない。 → 健康増進センターの充実を想定しています。「拠点」を「拠点施設」に訂正します。
58	保健・医療・福祉に続いて介護を加えて表現すべきではないか。 → ご指摘のとおり、介護を加えて、「保健、医療、福祉、介護」に訂正します。
58	「保健、医療、福祉の連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。」について 曖昧な表現で、具体性に欠ける。この項目を挙げたことには意味があるが、もう一步踏み込むべき。 → 保健福祉推進会議や地域ケア会議の機能強化など、連携の構築は実施計画の中で具体化を検討します。
58	「住民の取り組み」に西脇市民病院の市民ボランティアのような取り組みを盛り込むべき。 → 「支援意識の醸成」の意味の中に含めています。
58	「加西病院における医療者を確保し、負担を軽減します。」と 「加西病院の産科医と小児科医の確保に努めます。」→内容重複。 → ご指摘のとおり削除します。
60	「施設サービスを含め」→どういった施設か具体的に記載を。 → 施設サービスについては介護保険事業計画の中で具体化的な計画を定めます。
62	防犯灯のLED化率の目標値が低い。 → 5年後の「30」を「50」に訂正します。

市民ワークショップ委員からの意見と回答、計画の訂正

頁	意 見
66	里山整備の目標値が低い。 → 10年間で10箇所ではなく、毎年10箇所の計算となります。10年で100箇所を想定します。
72	「企業努力」の意味には民間委託も含まれることを確認した。 → 民間委託の推進を含みます。
78	なぜ「まちづくり条例」なのか。「自治基本条例」ではないのか。 → わかりやすく平易な表現として「まちづくり条例」とします。
78	「ふるさと創造会議」の名称を使うよりは普通名詞としての「地域協議会」の言葉がよいのではないか。 → 「地域協議会(ふるさと創造会議)」に訂正します。
78	地域協議会の目標値が低すぎる。 → 5年後の「2」を「11」に、10年後の「2」を「11」に訂正します。
80	姉妹都市の相手市の意向はどうなのか。 → 今年度から再開に向け先方に働きかけます。
82	正規職員数の目標値は下げるべきでないのか。5年後も10年後も同じではおかしい。 → 加西病院の医師、看護師等を含み、一般職員を減少させながら、医療者の増を見込んでいます。
83	「入札制度の見直し」とはどういう意味か。 競争性を高めるのであれば、わかりやすく明記するべきではないか。 → 「競争性を高めた入札制度の見直し」に訂正します。

2 5万人都市再生についての意見

(中学校給食がない。交通の便がない。生徒数が少ないので、部活動が選べない。男女共同参画の施策も遅い

→ 中学校給食の実現。公共交通の整備。少子化による学校問題の解決。男女共同の意識をもっと強く。

(市民が変わろうとしない。同じことの繰り返し。)

→ 市民も5万都市再生に向け、がんばること。変わることを。

高齢者の生きがいづくりが大切。

あらゆることについて特区制度をもっと活用する。

人口増対策には、総合計画とは別に計画が必要。

前計画の反省検証をもっと記載すべき。

加西の未来は子どもが「いるか」、「いないか」である。情熱を持って実行してほしい。

第5次の計画の進捗率は「80%」ぐらいにしたいものである。

3 全般的な意見

今回の市民ワークショップの意見交換だけで議会に上程するのはおかしい。審議会を通すべき。

報告会、意見交換をやったという単なるパフォーマンスでは。

教育面 各々が国を愛する心、加西を愛する心(郷土愛)が大切。町単位、行政単位で取り組む必要。

一般市民は総合計画について知らない。全戸配布すべき。

なぜ市長マニフェストによって総合計画を変更しなければならないのか。

加西市を批判してばかりではだめ。加西市らしさや加西の魅力を発見して加西を好きになることが大事。